



明治大学 校友会

秋田県支部会報

第 25 号

H 27. 9. 20

交流の輪を広げたい ― 支部会報、7年ぶり発行

我が母校である明治大学は、明治14年に明治法律学校として創立されて以来、今年で134周年を迎えた。明大広報課によると、校友（OBやOG）は今年4月現在、全国で52万7556人に上り、このうち住

所が判明している校友は32万7596人を数える。本県はどうかといえば、住所が判明している校友は1776人である。明大関連の情報を共有しながら校友相互の親睦を深める

ための「秋田県支部会報」は、全国校友秋田大会が秋田市で開かれた平成20年の第24号からしばらく途絶えていたが、今回装いも新たに7年ぶりに発行した。モノクロからカラーにしての再出発でもある。

昨年7月の支部総会にて支部長に選任されました。宜しくお願い致します。

今回、しばらく中断していました校友会秋田県支部の会報を皆様に送付することができました。大学の近況、その他盛りだくさんの内容となっておりますので

校友会或いは父母会も活動しているわけですが、将来的には少子高齢化問題があり、志望者や入学者数の減少傾向により校友も減少、特に地方からの入学者数が減少するとうことで大学関係者は危機感を持っております。

学生の多い明治大学になれば、と考えており、校友会の連携を強めながら秋田県支部の発展を目指したいと考えておりますので、校友の皆様の協力を宜しくお願い致します。



地方学生の多い明治に

明治大学校友会秋田県支部

支部長 加賀 勝 己

暫時、母校に想いを馳せてください。

支部総会でもお話ししましたが、明治大学はいま隆盛期にあることは、大学関係者のみならず、誰もが認めております。この大学を支え、また発展させるために、

らの入学者の減少に歯止めをかけることが必要かと思えます。大学では講演活動などによる支部との交流の強化、地方学生のための奨学金制度などの設立、また全国の父母会との交流などにより大学をアピールし、往年のような地方

この他に校友会秋田県支部では数年間隔でマンドリン演奏会や教授による学術的な講演、六大学の交流ゴルフコンペなども従前から開催しております。是非ご参加ください。

会報が途絶えた7年の間に、秋田県支部でもいろいろな動きがあった。平成20年当時、秋田県支部のトップとして全国校友秋田大会を成功に導いた蒔苗昭三郎氏は25年に國安教善氏に支部長職をバトンタッチした。しかし國安支部長は昨年5月、現職の支部長のまま無念にも他界。残任期間を長門靖彦氏（昭和40年・経営卒）が務めた後、昨年7月の総会で加賀勝己氏（弁護士、昭和40年・法卒）が新支部長に選出され、新たな執行部で再スタートを切った。

（役員名簿は2面に掲載）

加賀支部長になって2年目となる27年度は、さまざまな事業を計画している。秋田県内に在住する校友同士の心からの交流の実現を大きな目標としており、この会報の発行もその一環である。

どこに、どんな校友がいるのか、一般にはよく分からないのが現状だ。横の連絡をとろうにも、なかなかとれない。これまでの役員会でも、こうしたもどかしさが話題となり、個人情報取り扱いには厳しい時代背景はあるものの、秋田県支部の校友名簿を作成できないか、今後の検討課題にしている。

校友のきずな深める

秋田市で支部総会

懇親会では笑顔の輪

明治大学校友会秋田県支部の2015年度総会が7月11日、秋田市の秋田キャッスルホテルで開かれた。写真。



総会には県内の校友ら53人が出席。校歌斉唱に続き、来賓の鎌倉行男・明治大学理事、山口征義・明治大学校友会副会長、田部井茂・明治大学経営企画部長の3人が紹介された。

あいさつに立った加賀勝己支部長は「明治大学の立派な建物を見て感じたのは、いくつかの大学が他へ移った中で、明治大学は駿河台に残ってよかったなあ、という思いだ。もちろん校舎だけでなく、ビジネスマンが選ぶ大学でも明治がトップ。受験生の人気もトップ。素晴らしい発展だと思う」と述べながら、「秋田県支部も校友の親睦を図りながら、母校の発展に尽くしたいと思う。皆さん、よろしく頼みます」と呼び掛けた。

続いて来賓の鎌倉理事は「私が明治大学の事業部長時代に全国校友大会が秋田県支部で行われた。その際、私が最初にこの地を訪れ、大変なおもてなしを受けたことを思い出すと回想した後、大学の現状を説明。また青森市在住の山口副会長は「私は青森から5回連続、秋田県支部総会にお邪



秋田県支部役員 (2014—2015年度)

相談役	太田平八郎 (昭和28年・法卒)
	長山 讓 (同 30年・法卒)
	小畑 伸一 (同 30年・政経卒)
	大城 石基 (同 30年・法卒)
支部長	加賀 勝己 (同 40年・法卒)
副支部長	大津 勝召 (同 43年・法卒)
	沢田 祐治 (同 43年・商卒)
	木村 了 (同 44年・政経卒)
	進藤 勝美 (同 54年・商卒)
	瀬下 和夫 (同 56年・文卒)
	山崎 義裕 (同 56年・工卒)
幹事長	大坂 良宏 (同 52年・経営卒)
副幹事長	猿田五知夫 (同 55年・政経卒)

監査委員	大淵 宏見 (同 54年・商卒)
	大友 聡 (同 57年・政経卒)
幹事	辻 昭夫 (同 32年・経営卒)
	渡辺 一男 (同 32年・政経卒)
	朝倉 健 (同 32年・工卒)
	遠藤 欽一 (同 35年・法卒)
	鶴田 悟一 (同 37年・経営卒)
	打川 猛 (同 39年・農卒)
	木村 友勝 (同 39年・農卒)
	長門 靖彦 (同 40年・経営卒)
	菅原 道雄 (同 44年・経営卒)
	伊藤 守 (同 48年・法卒)
	宮田 正一 (同 49年・農卒)
	松尾由美子 (同 49年・文卒)

幹事	鶴田 有司 (同 50年・経営卒)
	大地 進 (同 52年・政経卒)
	桜庭 誠 (同 56年・工卒)
	新出 康史 (同 60年・政経卒)
	福田 家久 (同 60年・法卒)
	浅野目 至 (同 60年・法卒)
	工藤 千里 (同 61年・法卒)
	村井 成人 (同 62年・法卒)
	大関 衛 (平成4年・政経卒)
事務局長	金子 敬司 (同 4年・経営卒)
事務局次長	三浦 正博 (昭和62年・商卒)
代議員	加賀 勝己 (支部長)
	木村 了 (副支部長)
	木村 友勝 (幹事)

収支計算書(自 2014年4月1日 至 2015年3月31日) (単位:円)

収入の部	予算額	決算額	差額
I 本部より助成金収入			
1 支部総会開催通知費	100,000	161,200	61,200
2 支部総会会場費	150,000	153,200	3,200
3 支部運営助成金	218,000	218,000	0
II 支部会費収入	450,000	429,000	-21,000
III 総会費収入	300,000	318,000	18,000
IV 事業収入	0	0	0
V 寄付金収入	50,000	70,000	20,000
VI 特別寄付金収入	0	0	0
VII 果実収入	300	24,702	24,402
VIII 広報費	0	0	0
IX 雑収入	0	0	0
X 基金取崩収入	0	0	0
収入合計	1,268,300	1,374,102	105,802
前年度繰越収支差額	3,819,742	3,819,742	0
合計	5,088,042	5,193,844	105,802
支出の部	予算額	決算額	差額
I 事業費			
1 学生表彰費	0	0	0
2 学生団体助成金	30,000	20,108	-9,892
3 地域支部交流費	100,000	0	-100,000
4 その他事業費	0	117,800	117,800
II 広報費			
1 支部会報発行費	300,000	0	-300,000
2 広報関係費	100,000	0	-100,000
III 組織費			
1 地域支部助成金	500,000	0	-500,000
運営費			
1 会議費	0	0	0
(1) 支部総会費	600,000	649,584	49,584
(2) 役員会費	100,000	102,420	2,420
(3) 監査委員会費	10,000	0	-10,000
(4) 委員会費	20,000	0	-20,000
(5) 業務費	50,000	32,166	-17,834
2 事務費	40,000	40,000	0
3 慶弔費	200,000	171,754	-28,246
IV 積立金			
予備費	0	24,270	24,270
支出合計	2,050,000	1,158,102	-891,898
当年度収支差額	-781,700	216,000	997,700
次年度繰越額	3,038,042	4,035,742	997,700
合計	5,088,042	5,193,844	105,802

収支予算書(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) (単位:円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
I 本部より助成金収入		I 事業費	
1 支部総会開催通知費	150,000	1 学生表彰費	0
2 支部総会会場費	150,000	2 学生団体助成金	30,000
3 支部運営助成金	218,000	3 地域支部交流費	100,000
II 支部会費収入	420,000	4 その他事業費	170,000
III 総会費収入	300,000	II 広報費	
IV 事業収入	0	1 支部会報発行費	300,000
V 寄付金収入	50,000	2 広報関係費	100,000
VI 果実収入	300	III 組織費	
VII 雑収入	0	1 地域支部助成金	0
	0	IV 運営費	
	0	1 会議費	0
	0	(1) 支部総会費	600,000
	0	(2) 役員会費	100,000
	0	(3) 監査委員会費	10,000
	0	(4) 委員会費	20,000
	0	(5) 業務費	50,000
	0	2 事務費	40,000
	0	3 慶弔費	50,000
	0	V 積立金	0
	0	VI 予備費	0
収入合計	1,288,300	支出合計	1,570,000
前年度繰越収支差額	4,035,742	当年度収支差額	-281,700
合計	5,324,042	次年度繰越額	3,754,042
		合計	5,324,042



▲鎌倉氏

鎌倉行男氏(明治大学理事)
 明治大学では留学生を10年間で4000人受け入れ、逆に大学から海外に出す学生も同じ4000人、計8000人の留学計画を立てている。現在、外国からの留学生は2014年度で1187人受け入れ、日本から海外へ留学する学生は2013年度で1007人上っている。

ところで最近の研究で力を入れているのはメタン・ハイドレードだ。いわゆる「燃える水」のことで、化石燃料に続くエネルギーとしての研究

総会での来賓発言(要旨)

魔している」と笑顔を見せ、校友会の状況を報告した。

総会に提案された議案は2014年度の会務報告と決算報告、2015年度の事業計画案と予算案。審議の結果、いずれも原案通り承認した。

総会終了後に行われた懇親会では、出席者の中で最年長ながら現役の税理士として頑張る相談役の太田平八郎氏(85) 昭和28年・法卒の音頭で乾杯、和やかなムードの中で美酒を酌み交わした。事務局

を進めている。

一方、一般入試では、今年志願者は10万5702人となり、9年連続で10万人を超えた。近畿大学には及ばなかったものの、2番目の人気だった。来年からはウェブ上でも志願者を募ることにしている。

2013年に開設した中野キャンパスは1万6000平方メートルの敷地に14階建ての建物が立ち、リパティタワーは今年で17年目を迎えた。和泉校舎の近くにあるNITの社宅も購入し、留学生の宿舎にする予定。このように施設整備も着々と進んでいる。これも校友の皆さまのお蔭であり、感謝している。

山口征義氏(明治大学校友会副会長) 校友会の状況を説明すると、向殿政男会長が就任して6年、私も副会長になって6年になった。校友は全国で52万53万人に上り、住所が分かっている人は約33万



▲山口氏

次長の三浦正博氏(昭和62年・商卒)が仕事の合間を縫って考えた「第3回明治大学クイズ選手権大会」も行われ、三浦氏の軽妙な司会進行もあって大いに盛り上がった。

人になる。このうち終身会費を払っている人は半分だ。向殿会長になってからは「明治は一つ」を合言葉に、校友も職員も関係者が一体となって学校の発展に努めようとやってきた。今後も皆さんのご協力をお願いしたい。

もう一つ、海外の紫紺会について触れたい。現在、上海やタイ、ニューヨークなど16カ所に紫紺会をつくるまでになった。

ところで今年から、地方出身者を対象とする奨学金制度を始めた。毎年20人に出す計画だ。今年は東北から5人、うち秋田県からは1人が採用されたことを知ってほしい。

明治大学秋田県支部
 校友会の来年度総会日程
 は以下の通りです。

【開催日】
 平成28年7月10日(日)

【開催場所】
 ホテルメトロポリタン秋田

【タイムスケジュール】
 14:00~15:30
 講演会(一般公開)

16:00~17:00
 支部総会

17:00~
 懇親会

【秋田県支部事務局】
 〒010-0912
 秋田市保戸野通町4-24
 金子地所(株)内 金子敬司
 TEL 018-863-2761
 FAX 018-823-2037

駿台ア・ラ・カルト
 (明治大学HPより)

◆明治大学校友・羽田圭介氏(2008年商学部卒業)が、「スクラップ・アンド・ビルド」で芥川賞を受賞(第153回芥川賞(日本文学振興会主催)の選考会が7月16日に行われ、本学校友・羽田圭介氏の「スクラップ・アンド・ビルド」が受賞作に選ばれました。羽田氏は1985年東京都生まれ。明治大学付属明治高等学校在学中の2003年に「黒冷水」で第40回文藝賞を受賞。2008年明治大学商学部卒業。芥川賞には「一走ル」(2008年・第139回)、「ミート・ザ・ビート」(2010年・第142回)、「メタモルフォシス」(2014年・第151回)が候補作品にノミネートされ、4回目の候補作「スクラップ・アンド・ビルド」で受賞を果たした。

◆進学ブランド力調査「志願したい大学ランキング」で、明治大学が7年連続の関東エリア1位(リクルート進学総研が7月16日に発表した「進学ブランド力調査2015」の関東エリア志願したい大学)で、明治大学が7年連続で1位に選ばれました。

◆同調査は、リクルート進学総研が関東・東海・関西の高校3年生7万4千人を対象に実施したもので、今年で8回目。明治大学は関東エリアの「志願したい大学」の7年連続での1位に選ばれ、属性別の内訳でも「男子」が7年連続1位、「女子」が3年連続1位、「理系」が4年連続1位(いずれも関東エリア)となりました。

◆向殿政男名誉教授(校友会

長)が「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞。日本の安全のエキスパートである向殿政男名誉教授(校友会会長)が、平成27年「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。写真。「国民安全の日」の7月1日、総理大臣官邸にて表彰式が行われ、向殿名誉教授は安倍晋三首相から表彰状を授与されました。

本表彰は、産業安全や交通安全などの分野で、国民の安全確保に顕著な功績を挙げた者を表彰するものです。向殿名誉教授は、経済産業省消費経済審議会製品安全部会長、製品安全対策優良企業表彰審査委員長などを歴任し、あらゆる分野の製品安全に関する制度・規格の制定に尽力するなど、日本の製品安全の向上

に多大な貢献をした功績が認められました。表彰式では、「交通安全」「学校安全」「産業安全」「火災予防」の各分野別に、代表者に対して安倍首相から表彰状が直接手渡され、向殿名誉教授は「産業安全」の受賞者を代表して表彰状を受け



取りました。

ご存じですか？

明治大学の公式キャラクター「めいじろう」です。名前の由来は、「めいじ」+「ふくろう」。デザインは学生や教職員から寄せられた101点の応募作品の中からH19年3月に選ばれ、産声を上げました。



2013年、春。こまちに乗り込んだ私の期待に膨らむ胸は和泉校舎のように大きく、志はリバイタワーよりも高かった。

寄稿・投稿

2015年、夏。あの剥いたゆで卵のようにまっさらでどこか少し熱を帯びていた自分が昨日の如く、あっという間に時は流れて私は第3学年に進級していた。振り返ってみると自由な時間の多くを意義の無いもののために費やしてしまったような気がする。自省の意味も込めて、私が明治大学での最後の学生生活での経験を書き

たいと思う。

2014年の2月、私はシंगाポール、マレーシア、カンボジアの3国をバックパック一つで2週間歩き回った。熱帯気候にやられ、食べ物にやられ、言語の壁にぶち当た



明大での経験を糧に

薄井雅哉

り、いうなればコテンパンにされてしまった。印象に残っているコテンパン事件としては、シंगाポールからマレーシアへの出国審査の際、これはもちろん自分のミスだが、所持金を分散させて盗難の被害

円という大金を賄賂として渡し、友人よりも早く出国審査を終えることができたのだった。福沢諭吉のしおりを失ったパスポートを見て感じたのは少し異常ともとれる日本の平和の有難味であった。「平和

を最小限にするためにパスポートに1万円を挟んでいた。そのことを忘れてしまい、職員にそのまま渡したところ、無愛想な彼はにやにやと笑みを浮かべ、どこか見当違いの質問を始めた。結果的に私は1万円に成った」の平成生まれの私のスタンダードを破壊する良いきっかけとなる経験だった。

この他にも原動機付き自転車での東北縦断、レンタカーによる四国一周等、時間に余裕のある学生にしかできないようなことを少しずつやってきて、人生の夏休みそのままの学生生活であったが、これからは来る就活競争に向け、新たに主体的に取り組む何かを見つけていかなければならない。積み上げてしまった雑多な時間の上に立ち、今度こそリバイタワーのような高い志を持って毎日を過ごしたいと思う。

(経営学部3年)

編集後記

還暦を迎えた2年前、久々に駿河台を訪れた。話には聞いていたが、私が学生だった頃は別世界の光景が目に見え込み、一瞬たじろぐ。あの思い出多き記念館は高層のリバイタワーとなり、女子学生の多いことといったら。懐かしさと寂しさが複雑に交錯する▼しゃれた服装の男女が仲睦まじく闊歩する。学生時代、ひたすらジーパンに下駄履きで通した身からすれば、「時代だから」なんぞと簡単には片づけられない。バンカラはもはや過去の遺物か▼いや、そうじゃない。バンカラの精神とは、表面の姿形に惑わされずに真理を追究することにある。その意味では、今の明大生だってきつと同じ精神を持つているんじゃないか▼「春秋に富む」とは、年が若くて将来性があることを意味する。そんな後輩を心から応援したい。この会報を手にするのは人生の表裏を知り尽くした「春秋高し」(年配者)が多い、と思うから。(編集担当・大地)